

一五二三番

秋風あきかぜの 吹ふきにし日ひより いつしかと 我あが待まち
恋こひし 君きみそ来きませる

一五二四番

天あまの川がは いと川波かはなみは 立たたねども さもらひかた
し 近ちかきこの瀬せを

一五二五番

袖振そでふらば 見みもかはしつべく 近ちかけども 渡わたるす
べなし 秋あきにしあらねば

一五二六番

玉たまかぎる ほのかに見みえて 別わかれなば もとなや
恋こひむ 逢あふ時ときまでは